

少量危険物(指定可燃物)構造設備明細書(例)

事業の概要		産業廃棄物の処理						
少量危険物 指定可燃物 の用途		金属性廃棄物の破砕						
建築物の構造	階数	1	建築面積	100㎡	延べ面積	100㎡		
	壁	不燃(スレート)	柱	不燃(鉄骨)	は	り	不燃(鉄骨)	
	床	耐火(RC)	窓	なし	出	入	口 防火戸(シャッター)	
	屋根又は上階の床		不燃(スレート)					
建築物の一部に貯蔵・取扱所を設ける場合の全体建築物の構造			階数		建築面積		延べ面積	㎡
			建築物の構造概要					
建築物がない場合の貯蔵・取扱所の敷地又は区画面積					㎡			
貯蔵タンクの形態		屋 内 タ ン ク		屋 外 タ ン ク		地 下 タ ン ク		
タンクの構造	形 状	角型		容 量	1000L			
	寸 法	1m×1m×1m						
	常圧・加圧の別	常圧		通気管	あり			
	材質・板厚	SS41・4mm						
	防油堤の構造	RC造		容 量	1000L			
	注油口の位置	タンク本体天板ノズル						
屋外貯蔵	柵等の構造			地盤面の状況				
配管	なし			加圧設備	なし			
加熱設備	なし			乾燥設備	なし			
ためます等	あり			電気設備	照明・破砕機			
換気、排出の設備	なし			静電気除去設備	あり(アース)			
ポンプ設備	なし			警報設備	加入電話・自火報			
綿花類等	最大集積面積	㎡	温度計	有・無	散水設備等	有・無		
	合成樹脂を屋内で取扱と貯蔵を行う場合の区画方法							

注 該当しない欄については記入しないこと。